

HDS021-04

会場:展示ホール7別室3

時間: 5月24日09:45-10:00

豪雨によって鈴鹿山地御在所山周辺で発生したランドスライドの地質素因

Geologic causes of the landslides induced by heavy rainfall around at Mount Gozaisyo-yama, Suzuka Range, Mie Prefecture

永田 秀尚^{1*}

Hidehisa Nagata^{1*}

¹有限会社風水土

¹Fu Sui Do Co. Ltd.

2008年9月2日から3日にかけて鈴鹿山地で500mmを越える雨量が記録され、この豪雨によって、各地で土石流を含むランドスライドが発生した。御在所山周辺では、国道477号沿いの法面で岩盤すべりが発生した。また、北谷山腹斜面の表層崩壊が土石流となって2.2km流下した。発生域を構成する白亜紀の鈴鹿花崗岩には3系統の節理-小断層系が認められ、それぞれラミネーションをともなう。マサ化で示されるような風化帯は著しく厚くはない。地形的に見ると、御在所山は山上凹地を持つ緩斜面を山頂付近にもち、一方谷には厚い岩屑が堆積している。亀裂の発生や開口で特徴づけられる岩盤の劣化と、削剥にともなう厚い岩屑の堆積が、今回のランドスライドの地質素因となっているだろう。これらの素因は、第四紀における鈴鹿山地の急激な上昇に起因している。

キーワード: 2008年9月, 豪雨, ランドスライド, 御在所山, 鈴鹿花崗岩, 地質素因

Keywords: September 2008, heavy rainfall, landslides, Mount Gozaisyo-yama, Suzuka Granite, geologic causes